

静岡県の文化プログラム 基本方針

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、スポーツ競技とともに実施する文化プログラムについて、私たちはこの方針に基づいて静岡県内において推進し、感性豊かな地域社会を実現するための「ふじのくに芸術回廊」※の実現を図ります。

※「第3期文化振興基本計画」参照。

<https://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-110/bunkasouzou/documents/plan3-all.pdf>

テーマ：静岡県で展開される文化プログラム全体に共通する考え方を表しています。

地域とアート※が共鳴する

※芸術文化だけでなく、生活文化、伝統芸能等を含んで幅広く捉えたもの。

目的：文化プログラムの推進を通じて、以下の実現を目指します。

- ・ 県内の潜在的な文化資源、地域資源、人的資源などを目に見えるかたちで示します
- ・ 他者との違いに価値を見出し認め合う環境を育みます
- ・ すべての人々が持つ創造性に基づく多様な生き方の可能性を提起します
- ・ 文化・芸術を、地域的・社会的課題への対応に生かします

取組のポイント：以下の点を重視して文化プログラムを推進します。

- ・ 多様性：地域、社会、時代、分野、国籍等における多様性を生かした展開
- ・ 多極性：大規模・一極集中的なプログラムではない、県内各地の潜在的な文化資源を生かした多極的な展開
- ・ 持続性：一過性のイベントではない、2020年以降を視野に入れた持続的な展開

取組目標：以下の目標に向けてプログラムを推進します。

1 人材の活用・育成に関すること

- ・ 実践的専門家による文化・芸術活動支援
- ・ 実践的専門家による文化・芸術活動を活用した社会的課題対応への支援
- ・ 実践的専門家やプログラムの担い手の育成

2 仕組みに関すること

- ・ 文化・芸術活動支援、文化・芸術活動の社会的課題への対応の基盤となるネットワーク形成
- ・ 文化・芸術の振興と地域協働のための新たな専門組織（例：地域版アーツカウンシル）の設置・運営

3 人材と仕組みの応用に関すること

- ・ 県内各地における文化・芸術活動を応用した地域・社会課題解決への取組
- ・ 伝統的文化、伝統的産業の掘り起こし、継承と今日的活用
- ・ 文化・芸術とスポーツの連携による新たな取組の提案
- ・ 交流人口の拡大による、人口減少等の課題への対応